

# 教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行状況の点検・評価

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項)

(令和5年度)

令和6年10月

君津市教育委員会

# 目 次

## 【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要】

	頁
一 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
二 点検・評価に関する報告の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	1
三 取組状況及び点検・評価結果の概要・・・・・・・・・・・・	1

## 【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果】

	頁
一 教育委員会会議の開催状況及び審議内容等・・・・・・・・	2
1 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 教育委員会会議の審議・報告事項・・・・・・・・・・・・	2
(1) 審議内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 報告事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
二 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項・・・・・・・・	4
三 教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果・・・・・・・・	4
1 令和5年度評価基準の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2 点検及び評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(1) 自ら考え自ら学ぶ子どもを育成する（学校教育）	5
(2) 全ての市民が自己を磨き続けることのできる環境を整える（生涯学習）	11
(3) 市民が心豊かに暮らしていける環境を整える（文化・芸術振興）	15

# 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価

## 【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要】

### 一 点検・評価の目的

効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たす観点から、教育委員会では、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表するものです。

### 二 点検・評価に関する報告の内容

次の3項目の状況について報告します。

#### 1 教育委員会会議の開催状況及び審議・報告事項

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員による案件の審議を行っており、その開催状況と審議・報告事項について報告するものです。

#### 2 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、市長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進していくために設置された会議で、その開催状況と協議・調整事項について報告するものです。

#### 3 教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果

教育振興基本計画に掲げる施策について、取組状況を踏まえて点検・評価を実施し、その結果を報告するものです。

### 三 取組状況及び点検・評価結果の概要

#### 1 教育委員会会議の開催状況及び審議・報告事項（令和5年度）

令和5年度は教育委員会会議を12回開催し、審議案件38件、報告事項41件について審議しました。

#### 2 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項（令和5年度）

総合教育会議は必要に応じて随時開催しており、令和5年度の開催はありませんでした。

#### 3 教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果（令和5年度）

教育振興基本計画は、計画の実効性を高め、教育施策を強力に推進するため君津市総合計画基本計画と整合を図り策定していることから、施策の評価についても、君津市総合計画実施計画と同一の基準により評価を実施しました。

施策分野ごとの評価は、AからDの4段階のうち、「自ら考え自ら学ぶ子どもを育成する」、「全ての市民が自己を磨き続けることのできる環境を整える」、「市民が心豊かに暮らしていける環境を整える」の3分野でB評価としており、概ね計画どおり進捗しています。

## 【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果】

### 一 教育委員会会議の開催状況及び審議内容等

令和5年度に開催された教育委員会会議の開催状況及び審議・報告事項は、次のとおりです。

#### 1 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、毎月定例的に開催しています。

令和5年度は12回開催し、教育委員会の事務執行内容等について審議しました。

#### 2 教育委員会会議の審議・報告事項

##### (1) 審議内容

人事関係 8件、条例・規則関係 17件、教育行政の運営関係 2件、予算・議会関係 11件の合計 38件の審議を行いました。

区分	審 議 事 項
人事関係	1. 君津市社会教育委員の委嘱について
	2. 君津市公民館運営審議会委員の委嘱について
	3. 君津市図書館協議会委員の委嘱について
	4. 君津市小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について
	5. 君津市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
	6. 君津市学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員の委嘱について
	7. 令和5年度君津市優秀な教職員表彰について
	8. 君津市学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師の委嘱について
条例・ 規則関係	1. 令和5年度教科用図書君津採択地区協議会規約の制定について
	2. 令和5年度教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について
	3. 君津市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示について
	4. 君津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示について
	5. 君津市清和地域拠点複合施設の設置及び管理に関する条例の制定に関する意見について
	6. 君津市図書館規則の一部を改正する規則の制定について
	7. 君津市公民館規則の一部を改正する規則の制定について
	8. 君津市地域交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	9. 君津市図書館規則の一部を改正する規則の制定について
	10. 君津市図書館利用停止取り扱い要綱の一部を改正する告示の制定について
	11. 君津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する告示について
	12. 君津市立学校職員服務規程の一部を改正する告示について
	13. 君津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について

区分	審 議 事 項
条例・ 規則関係	1 4. 君津市教育委員会事務決裁規程及び君津市教育委員会行政文書管理規程の一部を改正する訓令の制定について
	1 5. 君津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	1 6. 君津市立学校教職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について
	1 7. 君津市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
教育行政の 運営関係	1. 令和6年度使用教科用図書採択について
	2. 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
予算・ 議会関係	1. 令和5年度君津市一般会計補正予算（第3号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	2. 令和5年度君津市一般会計補正予算（第5号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	3. 教育財産の用途変更について
	4. 大和田・坂田小学校統合施設整備工事請負契約の締結に関する意見について
	5. 大和田・坂田小学校統合施設整備電気設備工事請負契約の締結に関する意見について
	6. 大和田・坂田小学校統合施設整備給排水衛生設備工事請負契約の締結に関する意見について
	7. 令和5年度君津市一般会計補正予算（第6号）のうち教育委員会関係に関する意見について
	8. 第3次実施プログラムの方向性について
	9. 君津市公民館等再整備基本計画（案）について
	10. 令和5年度君津市一般会計補正予算（第8号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	11. 令和6年度君津市一般会計予算のうち教育委員会関係予算に関する意見について

## (2) 報告事項

教育長が専決処分した事項等について、教育委員会会議で報告しました。

君津市教育委員会行政組織規則第8条の規定に基づき臨時に代理した処理事項
・ 専決処分（君津市立上総小櫃中学校で発生した物損事故）の報告について
・ 損害賠償の額の決定に関する意見について
・ 懲戒処分について
教育長が出席した主な行事及び出席予定の行事について
専決処分により後援の承認をした行事について
講演会・競技会等の主催・共催行事について
その他重要案件について

## 二 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項

総合教育会議は必要に応じて随時開催しています。

令和5年度の開催はありませんでした。

## 三 教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果

### 1 令和5年度評価基準の概要

各施策分野の進捗評価については、君津市総合計画実施計画の評価方法と整合を図り、目標の達成に向けた取組状況を考慮し、下記の評価基準（A～Dの4段階）で総合的に評価を行いました。

施策分野 総合評価区分	
A	施策分野における目標の達成に向け、順調に進んでいる。
B	施策分野における目標の達成に向け、おおむね順調に進んでいる。
C	施策分野における目標の達成に向け、一定程度取組めているが、取組内容の見直しが必要である。
D	取組内容に一層の改善が必要である。

## 2 点検及び評価結果

(1)

教育振興基本計画	第1 自ら考え自ら学ぶ子どもを育成する
総合計画実施計画	柱3-2 学校教育

### 【現状と課題】※計画策定時

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の児童生徒の学力は、全国学力・学習調査の全国平均をやや下回っていますが、運動能力は高い水準にあります。運動が好きな児童生徒の割合は国や県の平均と比べて低い状況となっています。</li> <li>・道徳や人権について正しい知識を身に付けていくことやグローバル化、情報化の進展など、時代の変化に対応するために必要な資質・能力の育成が求められます。</li> <li>・市内の学校施設は昭和40年代から50年代に建築されたものが多く、老朽化が進んでいるため、適切に維持管理していく必要があります。</li> <li>・多様化する教育課題に対応するため、教員の指導力向上を図る必要があります。</li> </ul>
---

### 【施策の展開と取組実績】

① 子育てできる環境づくり	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもが主人公（チルドレンファースト）」の考えのもと、子ども自身が自らの力で成長することを支援するとともに、子どもが自分らしく意見や気持ちを表現できる環境をつくります。</li> <li>・様々な仲間との交流を通し、社会性を身に付けた子どもの育成を図ります。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校へサポートティーチャー5名、サポートスタッフ22名、中学校へサポートティーチャー9名、サポートスタッフ6名を配置し、教育支援を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を構築し、学習活動や体験活動等の支援を行うことができた。</li> <li>・市内全中学校の生徒会役員代表が集まり、君津市や自校の課題を共有し、全体の共通取組事項を決定した。さらに、その話し合った内容を各校に持ち帰り、市内全中学校でのぼり旗を設置したあいさつ運動に定期的に取り組んだり、SDGs活動を各校の実態に合わせて取り組んだりするなど、活動を広め実践することができた。また、自分たちにできることをしたいという生徒の熱い思いからから、市内の小中学校で能登半島地震災害義援金の募金活動を行い、寄付をすることができた。</li> </ul>

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの人的支援を求める声は、大きく人材確保が課題である。また、教育的ニーズが多様化する中、児童生徒を指導・支援するサポートティーチャー・サポートスタッフの専門性のさらなる向上も課題である。</li> <li>・合同生徒会クラスルームを使い情報共有を行っているが、現在は年2回の会議があるときに情報共有が集中しているので、年間を通して意見共有をしていくことが課題である。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートティーチャー・サポートスタッフの研修会を開催し、より良い実践などを共有し、指導・支援の専門性を向上を目指していく。</li> <li>・令和6年度8月20日（火）に第15期全体協議会を一日開催で実施する。節目の年であることから、ガザ地区支援の医師の公演を予定している。また、第15期の共通取組である「OMOIAI 運動（愛さつ運動含む）」、「SDG s 活動」を各学校の実態に合わせ、工夫して取り組んでいく。</li> </ul>

② 生きる力を育む学校教育の推進	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の改善を図るとともに、教員研修等を充実させることにより、児童生徒の確かな学力を育みます。</li> <li>・ 道徳・人権教育の推進により、児童生徒の思いやりのある豊かな心を育みます。</li> <li>・ 児童生徒の体力向上を図るため、達成感を味わえる学習体制や環境づくりに取り組むことで、自ら進んで運動に親しむことができる資質を養います。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の学力向上に向け、学力向上推進委員会で「授業力アップ公開研修」を年3回行い、算数・数学の授業公開を行うことで、授業改善に繋げる取組を実施。また、教務主任研修会を開催し、きみつ学び調べの結果を有効活用し、児童・生徒の個別最適な学びに繋がられるよう、各学校の取組を紹介し合い、より各校で活用が図られるように努めた。</li> <li>・ 年2回の学校人権教育推進委員会、学校人権教育研究協議会（講演会）を通して教職員の人権意識を高め、指導力向上を図った。これらの取組により、児童生徒へのアンケート結果から「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ていると思う」と感じる児童生徒の割合について、目標値の70%を超えることができた。</li> <li>・ 体力向上プロジェクト委員会において、体育学習の指導法について協議を行い、考えを深めた。小中学生に多く見られるスポーツ障害を予防できるよう体の部位別ストレッチ事例集を作成し、共有した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、算数・数学の授業力向上に向け、市内の教員に授業を見る機会を提供し、授業改善を進めていく。</li> <li>・ 体力テストの数値や千葉県運動能力証の合格率の向上を目指し、体力向上への取り組みを考え、実践していく。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、算数・数学の授業力向上に向け、市内の教員に授業を見る機会を提供し、授業改善を進めていく。</li> <li>・ 子どもたちが直面している課題にしっかりと目をむけて、授業はもちろん、子どもたちと関わる時間すべてを活用して支援していく。引き続き 教職員研修の場を設定していく。</li> <li>・ 小中学生の体力の現状を把握し、その実態に応じた体力向上への取り組みを遂行していく。</li> </ul>

③ 新しい時代に必要な資質・能力の育成	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GIGA スクール構想のもと整備された「1人1台端末（タブレット）」及び ICT 機器等を積極的に活用し、これからの社会で求められる力を伸ばします。</li> <li>・ 教員の英語の授業力向上により、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度に児童・生徒が1人1台端末（タブレット）及び ICT 機器を活用した授業時間数の1学級あたりの月平均は、小学校で27.4時間（R4年度21.3時間）、中学校で20.3時間（R4年度16.7時間）と活用時間数が大きく増加した。指導内容に応じた端末の活用を通して、社会に必要な「情報活用能力の育成」を図ることができた。</li> <li>・ ICT 機器を活用し、授業力向上を図ることができた。English Day Camp や英検プラクティス等の市独自の取組を通して、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人1台端末の導入から3年（令和3年2月1日導入）、校務用パソコン等の ICT 機器導入から5年（令和元年9月1日導入）が経過し、バッテリー劣化等の機器の経年劣化による故障件数が増加している。</li> <li>・ 授業力向上の推進及び児童生徒の英語力向上。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導内容に応じた1人1台端末及び ICT 機器等の効果的な活用について、教職員の研修（希望研修）を実施するとともに、経年劣化による機器の故障対応について取り組んでいく。</li> <li>・ ALT を効果的に活用し、言語習得にとどまらず、グローバルな視点で物事を考え、世界で活躍できるきみつつ子の育成を目指していく。</li> </ul>

④ 脱炭素社会の実現に向けた環境教育の推進	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒への環境教育を通じて、環境にやさしく脱炭素につながる知識を学び、新しいライフスタイルの浸透を図ります。</li> <li>・ 脱炭素につながる学校での環境教育の取組を、家庭や地域へ発信します。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋教育パイオニアスクールプログラム助成金を活用し、市内小中学校6校できみつ SDGs×つながる山・川・海学習プログラムを実施した。</li> <li>・ プレスリリースを積極的に行ったり、HP や YouTube を活用したりして、社会への発信を行った。</li> <li>・ 「すすめ！さかなクン研究室 in きみつ」にて、来場者約1000人に対して、小中学生の取り組みを紹介することができた。（教育センター）</li> </ul>

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラム実施には、学校側に負担がかかるため、働き方改革を推進するためにも、市からの手厚い人的サポートが必要である。</li> <li>・助成金は令和7年度までのため、その後は市の一般財源から予算をとる必要がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋教育パイオニアスクールプログラム実施2年目となり、令和5年度の取り組みを引き続き実施し、さらにSDGs副読本の完成を目指す。</li> </ul>

⑤ より良い学校環境の整備	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全ての子どもたちにとって「活力ある魅力的な」学校づくりを推進します。</li> <li>・周西の丘小学校をはじめ、老朽化が進む市内小中学校の施設整備を進めます。</li> <li>・トイレの洋式化や多機能トイレの設置を推進し、学校環境の改善を図ります。</li> <li>・学校を支援する人材を確保し、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの成長を支えます。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周西の丘小学校（旧坂田小学校）整備工事を開始した。令和7年度2学期供用開始に向け、遅滞ないように進めていく。</li> <li>・各学校からの推薦に基づき、自治会やPTA等から学校評議員を選出し、開かれた学校づくりの推進のための意見を聴取することができた。また、地域住民へスクールボランティアへの登録を呼びかけることで、より良い学校環境の整備に協力していただくことができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の老朽化が進行している。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「君津市学校施設の個別施設計画」に基づく整備を実施していく。</li> </ul>

【指標の達成状況】

指標名	現状値 (時点)	実績値					目標値
		R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R8 (2026)
①「自ら考え自ら学ぶことができる」と感じている児童生徒の割合	新規	小学校 72.3%	小学校 72.4%				70.0%
	—	中学校 72.7%	中学校 72.1%				
②「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と感じる児童生徒の割合	新規	小学校 72.9%	小学校 76.3%				70.0%
	—	中学校 70%	中学校 79.6%				
③全国学力・学習調査の全国との相対値	小6国語 95、算数94 中3国語 94、数学89	小6国語 93、 算数94	小6国語 94.8、 算数 91.5				小6国語 100、 算数99 中3国語 99、 数学94
	令和3年度	中3国語 96、 数学86	中3国語 90.8、 数学 79.3				
④授業中にタブレット端末を週3日以上使用するクラス	新規						80.0%
	—	63.3%	77.7%				
⑤学校施設におけるトイレの洋式化率	41.7%						60.0%
	令和2年度	62.6%	62.6%				

【総合評価】

総合評価	<b>B</b>	評価理由	学力向上および授業中のタブレット端末の週3日以上の使用率については令和8年度の目標値まで差があるものの、全体的に事業としては概ね目標値を達成しているため。
------	----------	------	---

(2)

教育振興基本計画	第2 全ての市民が自己を磨き続けることのできる環境を整える
総合計画実施計画	柱3-3 生涯学習

【現状と課題】※計画策定時

<ul style="list-style-type: none"><li>・身近な学習・地域活動の拠点として各地区に配備されている公民館を将来にわたって長く使えるよう、長寿命化と改修を計画的に行っていく必要があります。</li><li>・周南公民館、小糸公民館、清和公民館、小櫃公民館は老朽化が進み、対策が必要になっています。また、中央図書館は、設備や屋根、外壁等の老朽化対策が必要となっています。</li><li>・デジタル技術を活用した生涯学習の展開など、地域や社会の新たなニーズや、公民館に直接来ることが難しい人などにも対応できる事業展開が求められています。</li><li>・子どもたちの豊かな成長を育む社会教育活動を継続的に展開していくことが求められています。</li><li>・図書館においては利用者数、貸出冊数ともに減少傾向にあります。多種多様な情報の中から信頼性の高いものを選び、社会の変化や市民のニーズに応じた資料を提供することが必要です。</li></ul>
--

① 身近な場所で学び続けられる環境の整備	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 君津市社会教育施設の再整備基本計画に基づく「第1期プラン」に沿って清和公民館の複合化等の再整備を進めます。</li><li>・ 周南公民館、小糸公民館、小櫃公民館については老朽化や使用形態など、各施設が置かれている状況を総合的に考慮して計画的に再整備を進めます。</li><li>・ 中央図書館の老朽化対策を計画的に行い、快適に学ぶことのできる環境を提供します。</li></ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 清和地域拠点複合施設（愛称：おらがわ）の整備とともに、清和公民館の再整備を完了した。</li><li>・ 周南、小糸、小櫃の3公民館及びその周辺施設の再整備の方向性を定めた、君津市公民館等再整備基本計画を策定した。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域の活性化につなげるような取り組みをする必要がある。</li><li>・ PPP/PFI 導入可能性調査を進めるにあたり、導入機能等の詳細を定めていく必要がある。</li><li>・ 中央図書館の老朽化対策を計画的に行う必要がある。</li></ul>

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体と連携を取りながら地域の活性化につながる取組を実施していく。</li> <li>・君津市公民館等再整備基本計画に基づき、3 公民館等の再整備に係る PPP/PFI 導入可能性調査を実施し、再整備の手法、事業スケジュールなどについて、関係各課と連携しながら検討していく。</li> <li>・老朽化対策を計画的に行い、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>
--------	--

② 子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用による学習機会の提供に取り組みます。</li> <li>・公民館において、生きがいに役立つプログラムや、暮らしの課題解決に役立つプログラム、子どもたちの夢を育むプログラムなど、多様な事業展開に取り組みます。</li> <li>・公民館を使ったことがない人にも参加しやすい事業の工夫や、地域内外の交流を深める事業展開で、より幅広い人に活用される公民館づくりに取り組みます。</li> <li>・地域住民、団体、企業などと連携・協力することで生涯学習メニューの充実を図ります。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は、君津市総合計画目標指標「公民館事業における満足度90%」を達成した。</li> <li>・デジタル社会への対応のため、シニア層向けのデジタル機器操作、活用講座を実施（5館／延べ50回、369人）。</li> <li>・地域の課題や市民のニーズに応じて、各公民館で多様な事業（484プログラム／9,360人参加）を展開した。その中で、新たな取組として、障がい者の生涯学習活動推進に向けた事業、不登校の子を持つ保護者のネットワークづくりを図る事業、地域在住の外国人とのつながりづくりを図る事業などを実施し、より幅広い人に活用される公民館づくりを進めた。</li> <li>・連携協定を結ぶ企業等と連携を図り、生涯学習メニューの充実を図った。（21プログラム実施）</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスによる影響や高齢化に伴う会員の減少により、公民館利用サークル、公民館主催事業参加者が減少傾向にある。</li> <li>・これまで公民館がつながりを持ちにくかった障がい者や不登校など困難を抱えた人に向けた事業を試行したが、参加が想定より少なく、内容、周知などが課題と考えられる。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館利用サークルや主催事業の参加者層を拡大できるよう、多様な事業展開に取り組み、生涯学習メニューの充実を図る。</li> <li>・誰一人取り残さない地域を目指して、地域住民や関係機関などの様々な主体と連携した事業等に向けて検討を進める。</li> </ul>

③ 自主的に学び続けられる読書環境の整備	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせやビジネス支援講座など各年代に対応した参加型イベントにより、市民が多種多様な資料に接する機会を充実させ、図書館の利用促進を図ります。</li> <li>・社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握した図書館資料を収集し、市民が必要とする情報を入手しやすい環境づくりを推進します。</li> <li>・図書館サービスのデジタル化を推進し、図書館の利便性向上を図ります。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなしかいや映画観賞会などの参加型イベントを実施した。</li> <li>・新刊や市民からのリクエストを参考に資料を購入した。図書等のリクエスト 60,098 件、貸出数 485,418 冊の利用があった。</li> <li>・図書館利用者アンケート、新聞・雑誌購読希望調査を実施し、市民のニーズを把握に努めた。</li> <li>・未所蔵リクエストなど、来館でのみ受け付けていた手続きを LoGo フォームを利用し WEB 上で行えるようにした。また、電子書籍は、新規登録者 745 人、サービス利用件数（ログイン数）7,271 件、貸出数 2,813 点、電子雑誌閲覧数 841 回の利用があった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスによる影響等により休止していたおはなしかい等のボランティアが減少している。</li> <li>・利用者アンケートで寄せられた意見を、今後の図書館サービスにどのように生かすか検討する必要がある。</li> <li>・図書館サービスのデジタル化を推進する必要がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの募集や育成を行う。</li> <li>・アンケートや調査を参考に、周知やサービスの見直しなど今後の図書館サービスを検討する。</li> <li>・電子書籍サービスの継続や 図書館サービスデジタル化を推進し、利便性の向上を図る。</li> </ul>

【指標の達成状況】

指標名	現状値 (時点)	実績値					目標値
		R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R8 (2026)
①公民館利用者 向けアンケート での公民館事業 における 満足度	新規	88.7%	91.6%				90.0%
	—						
②図書館利用者 向けアンケート での利用満足度	新規	—	66.82%				70.0%
	—						

【総合評価】

総合評価	<b>B</b>	評価理由	清和地域拠点複合施設の整備とともに清和公民館が開館し、君津市公民館等再整備基本計画を策定した。公民館事業における満足度も目標値に達している。図書館については目標値達成に向けて取り組んでいる。
------	----------	------	---

(3)

教育振興基本計画	第3 市民が心豊かに暮らしていける環境を整える
総合計画実施計画	柱3-4 文化・芸術振興

【現状と課題】※計画策定時

<ul style="list-style-type: none"><li>・文化財の保管施設は、老朽化が進むとともに市民が所有する歴史資料の新たな受け入れ等が困難な状況にあり、市内に残る文化財や文化遺産の保存及び次世代へ継承していくための対策が必要です。</li><li>・文化・芸術活動をしている各種団体においては参加者の固定化と構成員の高齢化がみられ、団体活動の継続が課題となっています。また、伝統芸能の保存団体では後継者不足が深刻化しており、新たなニーズや時勢に見合った事業の企画や環境づくりが必要です。</li><li>・子どもから大人まで、郷土の歴史に親しむ活動を継続的に展開していくための事業を行い、郷土の歴史を後世につないでいくことが求められます。</li></ul>
--

① 多彩な文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくり	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 様々な年代の市民が文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくりを進めることで、文化・芸術活動への積極的な参加を促進します。</li><li>・ 文化振興のための市民活動団体を支援し、活動を継続させることで、伝統文化の継承を図ります。</li></ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 君津市民文化ホールを拠点とし、「おやこ de オペラ」や映画を上映する「きみぶんシネマ倶楽部」、各種コンサート、落語等、様々な年代の市民が多様な文化・芸術に触れることができる事業を実施した。</li><li>・ 君津市文化協会、君津市民合唱団、きみつ少年少女合唱団ほか2団体へ補助金を交付することで、文化振興のための市民活動を支援し、茶華道や詩吟等の伝統文化の継承を図った。</li><li>・ 君津市文化協会は「チャリティー市民芸術祭」、「市民芸術祭」、君津市民合唱団は「定期演奏会」、きみつ少年少女合唱団は「Xmas コンサート」等を開催した。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市民活動団体の会員の高齢化に伴う文化・芸術団体の継続的な活動が難しくなっているため伝統文化の担い手不足への対策が必要である。</li></ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 君津市民文化ホールを拠点とし、様々な年代の市民が多様な文化・芸術に触れることができる事業を実施する。</li><li>・ 君津市文化協会、君津市民合唱団、きみつ少年少女合唱団ほか2団体へ補助金を交付することで、文化振興のための市民活動を支援し、茶華道や詩吟等の伝統文化の継承を図る。</li></ul>

② 文化・芸術に係る環境の整備	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 君津市民文化ホール等の施設の適切な維持管理を図ります。</li> <li>・ 資料館の施設の立地等を含めた今後のあり方について検討を進めます。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 君津市民文化ホールにおいては、指定管理者に適切な運営管理を徹底するとともに、中ホールの引綱ロープ交換や大ホールの座椅子等の施設内の修繕を実施した。</li> <li>・ 漁業資料館においては、他施設への複合化等を含めた今後のあり方について関係機関と協議を行った。</li> <li>・ 久留里城址資料館においては、6月初旬の大雨で、久留里城本丸～二の丸間の登城道に大きな路肩崩落が発生したが、復旧整備を進め、3月には通行止めを解除することができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 君津市民文化ホールは築30年を過ぎ、修繕が必要な箇所が多くなってきているが、大規模修繕をするための予算がなく、小規模修繕で延命化をはかっている状況である。</li> <li>・ 久留里城址資料館において、5月の地震で被災した天守閣については、未着手なので早期に復旧を図る必要がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 君津市民文化ホールにおいては、指定管理者に適切な運営管理を徹底し、適宜施設内の修繕をするとともに、大規模修繕の対応方法を検討する。</li> <li>・ 漁業資料館においては、他施設への複合化等を含めた今後のあり方について関係機関と協議を行う。</li> </ul>

③ 地域の伝統文化を次世代につなげる環境づくり	
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校と連携した歴史学習等を通じて、地域に残る伝統文化の保護と継承を図ります。</li> <li>・ 市内外への文化財の魅力発信や文化財を活用した学習機会の拡充により、伝統文化の継承を図ります。</li> <li>・ 文化財の所有者や保存団体等が行う修復や継承活動を支援するとともに、地域に残る伝統文化などを文化資源として周知を図ります。</li> </ul>
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールミュージアム事業の重点実施校（八重原小・周南小・小櫃小）で千葉県立中央博物館・森林インストラクター会・千葉県文化財課と連携し、自然・歴史分野の専門家による体験プログラムを実施した。また、希望校の外箕輪小では学区周辺の遺跡についての学習支援を行った。</li> <li>・ 漁業資料館では、市内小学校の校外学習での来館時の解説や、昔の漁業道具を用いた出前授業を行った（来館3校他、1,099人）。</li> <li>・ 夏休み期間中の土器づくりの体験教室（小学生対象、参加者80人）、出土遺物公開展（見学者869人）、公開展に合わせて実施した土器づくり体験・解説会（参加者51人）等を開催した。</li> <li>・ 久留里城址資料館では市内小学校の授業における博物館の活用にも協力し、また学校の要望により、むかしの生活道具を用いた出前授業を行った（来館9校・出前2校 593人）。また、市内在住で、江戸時代から続く型紙を使った防染技術「長板中形」で人間国宝に認定された松原伸生氏の作品の魅力などを紹介した（来館者1,829人）。</li> <li>・ 市指定無形民俗文化財保存団体6団体に補助金を交付し、継承活動の支援を図った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土の歴史や市内に残る文化財、文化遺産の保存及び次世代へ継承していくためのさらなる対策が必要である。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールミュージアム事業や漁業資料館における市内小学校の校外学習など、学校と連携した歴史学習等を通じて、地域に残る伝統文化の保護と継承を図る。</li> <li>・ 市内外への文化財の魅力発信や文化財を活用した学習機会の拡充により、伝統文化の継承を図る。</li> <li>・ 市指定無形民俗文化財保存団体6団体に補助金を交付するなどによって、文化財の所有者や保存団体等が行う修復や継承活動を支援するとともに、地域に残る伝統文化などを文化資源として周知を図る。</li> </ul>

【指標の達成状況】

指標名	現状値 (時点)	実績値					目標値
		R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 8 (2026)
①市民文化ホール 利用者の満足度	97.6%	98.0%	98.3%				100%
	令和2年度						
②文化資源を活用 した事業の満足度	新規	93.6%	96.0%				80.0%
	—						

【総合評価】

総合評価	B	評価理由	文化・芸術に係る環境の整備において課題はあるが、文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくりや、地域の伝統文化を次世代につなげる環境づくりにおいては、おおむね目標を達成した。
------	---	------	---